

【問題】次の文章は、児玉聡「喫煙はどこまで個人の自由か—喫煙の倫理学」児玉聡編著『タバコ吸ってもいいですか—喫煙規制と自由の相剋—』（信山社、2020）3頁～27頁からの抜粋である（出題の都合上、原文の一部を省略し、表記を変更した箇所がある）。この文章を読んで、後の【設問】に答えなさい。

— 文章略 —

【設問】

問1 下線部①「分煙の必要性さえ疑問視されていた 80 年代の議論とは異なり、今日の議論においては、分煙の必要性に関しては一定の合意が得られている」とあるが、「今日の議論」とはどのようなものか。あなたの言葉で説明しなさい。（解答は答案用紙（表）に 600 字以内で記載すること。句読点も 1 字と数える。）

問2 下線部②「そのため、ミルはパターナリズムやリーガル・モラリズムに強く反対したのだ」とあるが、どういうことか。あなたの言葉で説明しなさい。（解答は答案用紙（裏）に 600 字以内で記載すること。句読点も 1 字と数える。）